	をする規則の制定について」を議題といたします。説明をお願いします。
教育総務課長	議案書の2ページをお開きください。 (議案書朗読) それでは次のページをお開きください。こちらが規則改正の本文となります。この規則は、教育委員会の権限に属する事務を市長の補助機関たる職員に補助執行させるものです。ご承知のとおり、本年4月1日から幼稚園に関する事務の一部を子ども育成課に移管しておりますが、今回の案件となっている幼稚園授業料徴収条例の一部改正にあたり、実際に比べ委任事務を限定しすぎているのではないかという指摘がございましたため規則を改正するものです。詳しくは次のページをお願いします。 こちらが改正の新旧対照表です。左のページの二重下線部分、「の調定及び収納」を削除し、右のページのとおり「授業料等に関すること」に改めるものです。 なお、この規則は、公布の日から施行するというものです。説明は以上です
教育委員長	ただ今、御教議第31号について内容説明がなされましたが、本案について質疑を求めます。
教育委員長	質疑もないようですので、本案について承認することにご異議ございませんか。
(異議なし)	
教育委員長	ご異議がないようですので、御教議第31号「御殿場市教育委員会の権限に属する事務の補助執行に関する規則の一部を改正する規則の制定について」を原案どおり承認することに決しました。
教育委員長	次に、御教報第1号「御殿場市立幼稚園授業料等徴収条例の一部を改正する条例の制定について」を議題といたします。説明をお願いします。
教育総務課長	議案書の6ページをお開きください。 (議案書朗読) 続きまして内容の説明をさせていただきます。次のページをお開きください。先ほどの御教議第31号でもご説明いたしました、この幼稚園授業料に関する事務は4月1日から子ども育成課に移管しておりますが、その条例の内容についての改正を報告するものであります。 この幼稚園授業料等徴収条例の一部改正の背景としましては、本年の4月1日付で就園奨励費の国庫補助額が増額されたことに伴い、保護者の負担軽減を図るため、授業料の減額の限度額を引き上

	げるものです。 9ページ・10ページをお開き下さい。こちらが新旧対照表となります。下線を引いた部分が改正部分です。例えば左の表の1段目「当該年度の市民税の所得割額が非課税となる世帯」の「同一世帯から3人以上就園している場合の左記以外の園児」が年額79,000円となっておりますが、これが右の表では84,000円に改正されます。以下、同様に11・12ページまで全て下線部分は限度額を増額しております。 今回の改正は第2子・第3子のいる保護者の負担軽減を目的としております。特に第3子につきましては、公立幼稚園の場合月額7,000円の授業料ですので、12カ月で84,000円となり、基本的に授業料は無料ということになります。 12ページをお開きください。附則となりますが、この条例は公布の日から施行となり、平成26年4月1日から適用となります。以上で説明を終わります。
教育委員長	ただ今、御教報第1号について内容説明がなされましたが、本案について質疑を求めます。
教育委員長	質疑もないようですので、本案について承認することにご異議ございませんか。
(異議なし)	
教育委員長	ご異議がないようですので、御教報第1号「御殿場市立幼稚園授業料等徴収条例の一部を改正する条例の制定について」を原案どおり承認することに決しました。
教育委員長	次に、御教報第2号「平成25年度御殿場市一般会計決算（教育費）について」を議題といたします。説明をお願いいたします。
教育部長	議案書の13ページをお開きください。 (議案書朗読) 初めに、教育費全体の概要について説明をさせていただきます。別冊の2号資料の御殿場市一般会計決算書をお開き下さい。 開いていただきまして、最初のページになりますけれども、10款教育費の決算額は46億円余で予算に対する執行率は97.2%でありました。決算額は前年と比べ1億7千2百万円余、率にして3.6%の減となりましたが、これは小学校校舎の改築事業の完了等によるものです。最初に全体の概要を説明します。 平成25年度の事業を見ますと、学校関係の耐震化業におきましては平成19年度から計画に基づき実施をして参りましたが、原里小学校・印野小学校の改築も終了し、ほぼ全体計画の99%が終了した状況です。

	学校教育におきましては、富士山の世界文化遺産登録を機に、今一度子どもたちに富士山への興味を持ってもらおうと、ありがとう富士山コンサートを初め、セラピードッグの特別講演など命やいじめと言った特に子ども達の感性を育むイベントを多く実施して参りました。また、全国学力調査が大変話題となりましたが、当市の状況をしっかりと分析をした上で学力向上に向けての取り組みを行って参りました。 社会教育においては、富士山の世界文化遺産登録に向けての活動や、また登録後の富士山への信仰面・保全に向けての取り組みを行って参りました。 学校給食では、ノロウィルスによる食中毒が社会問題となりましたが、当市では対策マニュアルに基づき行動し、年間を通して安全・安心な給食の提供を行うことが出来ました。 以上が平成25年度決算の概要ですが、細かな決算の内容につきましては、それぞれ所属長から説明をいたします。
教育総務課長	同じく2号資料の226・227ページをお開き下さい。 10款1項1目教育委員会費の執行率は98.1%です。 右の備考欄で主なものを説明いたします。 2の交際費は、生徒への弔慰金、教育委員長へのお見舞金及び県書道連盟御殿場地区書初め展の教育長賞の盾10個の経費です。 4の負担金は、人口割と均等割で積算されています。 5の交付金ですが、教育委員の先進地視察として、埼玉県三郷市教育委員会等を訪問した時の経費です。 2目事務局費の執行率は98.8%です。 2の①は、「学校法人補助金交付要綱」に基づき、市内の私立幼稚園2園への、幼稚園運営に対して補助したものです。 228・229ページをお開きください。 3は、人材育成を図ることを目的に、本市に住所を有する者の子で、高校又は大学に進学するものに対し、高校生月額12,000円、大学生月額30,000円を貸与しております。平成25年度新規貸与者は15人で、これまでの継続者と合わせると、高校生2人・大学生44人、計46人になります。 4は、地区ごとに幼稚園、小学校、中学校及び特別支援学校の教育振興を図るための補助金です。 6は、幼稚園及び学校施設の修繕業務を遂行するため建築技師補助1名、また部分休業の代替として一般事務補助1名の臨時職員を雇用しました経費、その他には複写機やOAソフトの借上料などが主なものです。 3目教育指導費につきましては、学校教育課で説明します。

学校教育課長

引き続き、決算書の 228・229 ページをお開きください。

10 款 1 項 3 目教育指導費について、ご説明申し上げます。

執行率は、94.2%でございます。内容は備考欄の記載事項によりご説明申し上げますので恐れ入りますが備考欄をご覧ください。

1、人件費の①は、定期の健康診断、健康相談及び保健指導における学校医・園医 94 人の報酬であります。

②は、学校薬剤師 16 人の報酬、③から⑥は、それぞれ記載の委員・専門調査員に対する報酬であります。

2、健康管理事業の①は、尿検査、心臓病検査、結核等の検査関係や就学時、入園時健康診断の委託料等、児童・生徒の健康管理に伴う健診等の費用であります。

②の学校保健管理充実（学校専門相談医）事業は、御殿場市医師会と協力して平成 18 年度から立ち上げた事業で、学校保健管理の専門的技術指導の充実を図るため、学校専門相談医に支払った委託料等であります。

③は市内 16 校の教職員健康診断等の委託料、④は駿東地区学校保健会の負担金であります。

次のページ、230・231 ページをお願いいたします。

⑤は教職員人間ドック（137 人分）の負担金であります。

3、学校教育支援事業の①は、市教育相談員 2 人と小学校教育相談員 2 人、中学校心の教室相談員 3 人の雇用経費等で、いじめ問題や不登校児童・生徒の解消を図るため、小・中学校及び児童生徒の家庭に相談員を派遣し、支援を行いました。

②の外国人児童生徒適応指導事業は、外国籍の児童生徒に対して、日本語指導など学校生活の円滑な適応を図るための事業で、原里小学校に事務局を置く運営協議会への交付金であります。学校からの要請に応じて、巡回教室の形式で、スペイン語、ポルトガル語、タガログ語の指導員 3 人を派遣しました。

③の学校教育充実事業は、特別支援学級補助者 10 人、情緒通級指導教室補助者 1 人、保健室運営補助者 3 人、学校図書室補助者 6 人の雇用経費であります。

④の特別支援教育推進事業は、3 人の巡回相談員雇用経費と、個別支援計画をサポートする「専門家チーム会議」に参加いただいた元御殿場特別支援学校校長への謝礼であります。

⑤は、通常学級に在籍する発達障害児で、特に個別の支援を必要とする児童生徒が多い学校に派遣した支援員 12 人の雇用経費等であります。

⑥の魅力ある学びづくり推進事業は、教職員が児童生徒一人一人

と向き合う時間が確保できるよう事務的な業務を支援する臨時職員の雇用経費であります。

⑦は、駿東地区教職員の資質向上に向けた研修会への助成及び文化・スポーツなどの駿東地区の大会等、体育・文化向上のための負担金であります。

⑧は、小・中学校の児童・生徒に夢をはぐくむ事業で、25年度は小・中学校全16校で講話や芸術鑑賞等が実施され、子どもたちの夢や職業観の育成を図りました。

⑨は、教育研究推進のための交付金で、富士岡小学校・神山小学校・富士岡中学校にはキャリア教育の視点から教育課程の研究、東小学校には特別支援教育の研究、原里中学校には学力向上・授業改善の研究を図る研究指定校として、それぞれ先行的な研究推進を図りました。

⑩は、市内中学校の部活動が全国大会へ出場した際の交付金であります。25年度は陸上競技、水泳において全国大会への出場がありました。

なお、この事業については不用額が出ておりますが、その主な理由としては当初配置する予定であった人数の臨時職員が確保できず、賃金等に減が生じたものであります。

続きまして、4の外国人英語指導者配置事業について説明いたします。この事業は、英語教育の充実と国際理解教育の推進を図るため、業者と委託契約して小学校・中学校に計9人(小学校2人、中学校3人、小中学校4人)の外国人の先生を、英語指導者として派遣するための委託料であります。自然な英会話に触れ、英語によるコミュニケーション能力の向上を図りました。

5、多人数学級支援事業について説明いたします。

この事業は、小学校の36人以上の多人数学級に、教科指導、生活指導を行うための支援員を派遣するものです。多人数学級で担当教員とともに児童生徒へのきめ細やかな指導を実現する事業で、支援員2人の雇用経費であります。

6、幼児教育振興事業について説明いたします。この事業は、市幼児教育振興計画に基づき調査・研究等を行い、子どもたちの健全育成を推進するものであります。①は、幼稚園教諭の資質向上を目的に開催しました研修会の講師謝礼であります。②は、幼稚園・保育園・小学校・中学校の教職員による合同研修会等の実施、③は、研究指定園であります富士岡幼稚園の研究推進のための交付金であります。

続きまして7、教育指導補助事業について説明いたします。この事業は、市内小・中学校の教職員(454人)の教育研究費用とし

	て、研修会や各教科研修等に対する補助金であります。 8、一般諸経費について説明いたします。幼稚園指導関係臨時職員等の雇用経費、卒業記念品、教育論文賞賜金、体育文化賞賜金等の報償費、教師用教科書、指導書購入経費等でございます。 以上でございます。
教育総務課長	続きまして、小学校費について説明いたします。同じページをお願いいたします。 2項1目学校管理費の執行率は94.5%です。 1の①は、印刷製本費・通信運搬費・複写機の借上料など、小学校の管理運営に要した経費です。 ②は、小学校勤務の臨時職員計22名を雇用しました経費です。 232・233ページをお開きください。 2の①は、電気料や水道料、教育用コンピュータの保守、浄化槽の保守点検など、小学校の維持管理に要した経費です。 ②は、小学校の維持補修としての修繕料が主なもので、富士岡小学校グラウンド修繕、原里小学校プールサイドウレタン塗装修繕、高根小学校屋内運動場屋根復旧修繕、朝日小学校図書室壁面修繕、その他各学校の設備や遊具などの修繕に要した経費です。 ③は、小学校5校の土地借上料として要した経費です。なお、施設管理費の不用額については、光熱水費及び委託料等が見込みより減となったものです。 3の①は、小学校の図書室の図書を購入した経費です。 ②は、教材備品を除く、各小学校が整備する机や椅子などの一般備品、放送室放送設備などを購入した経費です。 ③は、富士岡小学校の校舎耐震補強・改修工事、富士岡小学校屋内運動場耐震補強実施設計委託等に要した経費です。 ④は、高根小学校プール測量・造成設計及び基本・実施設計委託、既存プール解体整地工事等に要した経費です。 ⑤は、玉穂地区児童屋内体育施設基本実施設計委託、既存施設解体工事及び改築工事、神山地区児童屋内体育施設リニューアル計画策定委託等に要した経費です。 なお施設整備費の不用額3千百万円余につきましては、(仮称)玉穂地区屋内運動場建設工事費及び高根小学校プール外構整備工事費の入札差金、高根小学校プール建築付帯工事費が見込みより減となったものです。 4は、特別支援学級における消耗的教材や図書の購入に要した経費です。 5は、学校長交際費ですが、執行はありませんでした。

1 1 節への予備費の充用は、高根小学校屋内運動場の屋根が台風による強風の影響により広範囲にわたり破損したため、その復旧修繕に要した経費です。

2 目教育振興費の執行率は93.7%です。1の①は、各小学校の教材備品や特別支援学級教材備品を購入しました。主なものは、原里小学校他2小学校のミシン、御殿場小学校のデジタル騒音計などです。

②は、理科教育振興法に基づく理科に関する教材として、人体骨格模型などの購入に要した経費です。

③は、平成20・25年度に整備した教育用コンピュータのリース料と、特別支援学級の児童用パソコン及びプリンターの購入等に要した経費です。

④は、原里小学校及び朝日小学校の電子黒板のリース料に要した経費です。

2の①は、経済的理由により就学が困難と認められる児童の保護者に対して、学校給食費及び学用品費などの援助を行うものです。平成25年度末の要保護・準要保護の児童数は、197名となっています。

②は、特別支援学級に在籍する児童の保護者の経済的負担を軽減するため、学用品費、修学旅行費、学校給食費等を保護者の所得に応じて援助を行うものです。小学校10校に在籍する71名中49名が、援助の対象となっています。

続きまして、234・235ページをお開き下さい。

3 目原里小学校校舎改築事業の執行率は98.9%です。2は、3か年実施計画の6年目として、工事監理委託、グラウンド整備工事、屋外便所倉庫建設工事等に要した経費です。

3の繰越明許、校舎改築事業は、仮設校舎解体・外構付帯工事等に要した経費です。

4 目印野小学校校舎改築事業費の執行率は97.8%です。2は、3か年実施計画の4年目として、仮設校舎借上料・校舎改築工事・グラウンド整備工事等に要した経費です。

この事業は、2千万円余の予算残となりましたが、これは、設備付帯工事の計画見直しによる減、グラウンド整備工事の入札差金、修繕料及び委託料が見込みより減となったことによるものです。

236・237ページをお開きください。

3 項1 目学校管理費の執行率は97.4%です。1の①は、印刷製本費・複写機等借上料など、中学校の管理運営に要した経費です。

②は、臨時職員計12名を雇用した経費です。

2の①は、中学校の維持管理に必要な電気料や水道料・教育コンピュータの保守委託、自家用電気工作物の保守等に要した経費です。

②は、中学校の維持補修としての修繕料が主なもので、御殿場中学校遠隔操作盤修繕、富士岡中学校体育館樋雨漏外修繕及び受電設備不具合修繕、その他各中学校の設備や体育器具などの修繕に要した経費です。

③は、中学校5校の土地借上料として要した経費です。

3の施設整備費①は、各中学校の図書室の図書を購入した経費です。

②は、各中学校で整備する机、椅子などの一般備品、グラウンド放送設備などの備品購入に要した経費です。

③は、御殿場中学校耐震補強・改修工事、外便所改築工事、南中学校耐震補強・改修工事等に要した経費です。

④は、富士岡中学校暫定校舎借上及び修繕に要した経費等に要した経費です。

5は、学校長交際費で生徒への弔慰金です。

238・239ページをお開きください。

2目教育振興費の執行率は80.8%です。1の教材整備費①は、各中学校の教材備品を購入しました。主なものは、南中学校家庭科室の調理台などです。

②は、理科教育振興法に基づく理科に関する教材として、生物顕微鏡等を購入した経費です。

③は、各中学校教育用コンピュータのリース料に要した経費です。

④は、原里中学校の電子黒板のリース料に要した経費です。

2の扶助費①は、小学校同様、経済的理由により修学が困難と認められる生徒の保護者に対して、援助を行うものです。平成25年度末の要保護・準要保護の生徒数は、126名となっています。

②は、特別支援学級に在籍する生徒の保護者の経済的負担を軽減するため援助を行うものです。開設の中学校5校に在籍する23名中17名が、援助対象となっています。

4項1目幼稚園費の執行率は97.0%です。1の①人件費不用額5百60万円余が出ておりますが、これは育児休業職員8名分の給与が不要になったためです。

2の①は、消耗品費・印刷製本費・複写機の借上料などの幼稚園運営に要した経費です。

②は、未就園児や就園児を対象に行った地域子育て支援事業で、消耗品や保育児童の傷害保険に要した経費です。

	③は、幼稚園の臨時職員64名を雇用した経費であります。 なお、幼稚園運営経費の不用額5百70万円余については、育児休業代替職員の補充がすぐにできなかったことによる臨時職員の賃金等が減となったものです。 3の①は、幼稚園施設の維持管理費として、浄化槽の清掃手数料及び施設警備の委託料などに要した経費です。 ②は、幼稚園の維持補修としての修繕料が主なもので、原里西幼稚園倉庫修繕、玉穂幼稚園遊戯室空調修繕、その他各幼稚園の設備や遊具などの修繕に要した経費です。 ③は、幼稚園6園の土地借上料として要した経費です。 4の①は、各園に一般備品として、FF式暖房機、園児用ロッカーなどを購入した経費です。 240・241ページをお開きください。 ②は、原里西幼稚園園舎増築・園庭拡張工事、原里幼稚園園庭拡張工事等に要した経費であります。 5の①から⑤は、幼稚園教諭が教育研究等のために入会している研究会等への負担金としてそれぞれ支出したものです。 2目私立幼稚園就園奨励費の執行率は98.8%です。1は、国の補助を受けて、私立幼稚園に通園している園児の保護者に対し、授業料等の一部を補助し、保護者の経済的な負担軽減を図ったもので、418名が対象となりました。 教育総務課関係は以上になります。
社会教育課長	引き続き240、241ページをお願いします。社会教育課関係の説明をさせていただきます。 5項1目社会教育総務費は、執行率97.3%でした。備考欄の1の①から⑥までは、各委員会委員等の報酬です。 次のページ、242・243ページをお願いします。 2の①は、市民大学講座・学校開放講座・生涯学習奨励事業及び生涯学習推進会に要した経費です。 ②は、楽しい子育て教室、子育て学習講座及び家庭教育学級の活動に対する助成に要した経費です。 ③は、市婦人会連絡協議会への補助に要した経費です。 3の①は、地域づくり活動・体育振興・文化振興・婦人会・青少年健全育成等、地域振興のために、それぞれの事業に助成した経費です。 ②は、地域公民館活動の要である地域づくり活動主事を対象とした講座を実施した経費及び地域づくり活動主事で構成されている連絡会の活動を促進するための交付金に要した経費です。 4の①は、青少年チャレンジ体験事業、わたしの主張発表大会及び成人式等の事業に要した経費です。

②は、ボーイスカウト及びガールスカウトの活動に対して補助したものです。

5の①は、青少年センター運営懇話会構成員への謝礼及び青少年センター事業に要した経費です。

②は青少年のための科学の祭典事業及び市PTA連絡協議会への交付金と青少年健全育成強化月間や各期の青少年を守り育てる運動に要した経費です。

③は、放課後子ども教室の7校区の運営及び放課後子どもプラン推進の検討に要した経費です。

6の①は、ボーイスカウト・婦人会等の活動拠点として使用しています「ふれあい会館」の、②は、旧青少年会館跡地の、それぞれの施設の維持・管理に要した経費です。

2目文化財費の執行率は95.9%でした。

次のページ、244・245ページをお願いします。

2は、印野の溶岩隧道丸尾苑の管理委託・文化財賞賜金・東山のサイカチの保全等に要した経費です。

3の①は、茱萸沢にあります民俗資料収蔵庫の管理運営委託・燻蒸作業・浄化槽管理委託料等の維持管理に要した経費です。

3目図書館費の執行率は98.2%でした。

2の①は、窓口業務委託料・雑誌や新聞の購入費・図書データ使用料等に要した経費です。

②は、子育て支援・子ども読書活動推進の一環として、絵本を介して親子のふれあいの大切さを啓発するためのブックスタート事業に要した経費です。

③は、図書館の蔵書充実を図るための図書等の購入に要した経費です。

④は、図書館の貸し出しシステム並びにインターネット公開事業に要した経費です。

3の①は、図書館の光熱水費・施設や設備の保守委託料・土地借上料など、施設の維持管理に要した経費です。

②の主なものは、空調機・照明及び防災設備の修繕に要した経費です。

次のページをお願いいたします。

5の①から④は、日本図書館協会ほか協議会等の負担金です。

6は、図書館ボランティアの会及びくろつぐみの会への活動助成のための交付金です。

社会教育課分は以上です。

学校給食課長	246・247ページをお願いします。 それでは、6項1目の給食センター運営費について説明いたします。 執行率は、99.2%でございます。備考欄の大事業で説明をいたします。 1の①は、学校給食センター運営委員会開催時の委員13人分の報酬でございます。 2の①は、臨時職員20人、パート職員17人、計37人の賃金と社会保険料でございます。 3は、小学校児童5,474人、中学校生徒2,597人、合計8,071人と教職員など合わせて約8,700人分の学校給食の賄材料費のほか、センターと学校間の給食配送・回収業務、小・中学校の配膳業務委託、職員の保菌検査等に要した経費でございます。 4の①は、3施設の衛生管理に使用する消毒液、洗剤、厨房・給食用の消耗品、燃料費、光熱水費、建物保安業務、調理機器等の点検整備の業務委託等に要した経費でございます。 ②は、高根学校給食センターの給水ポンプ修繕等、施設や調理機器の修繕に要した経費でございます。 ③は、南学校給食センターと西学校給食センターの土地借上料でございます。 ④は、PFI事業で行っている南学校給食センター建設に係る償還金と維持管理費・運営費でございます。 5の①は、西学校給食センターの污水浄化システムと回転蒸気釜の更新整備に要した経費でございます。 6は、各センターで使用している公用車4台の車検と修繕等に要した経費でございます。 7は、旅費、事務用消耗品等に要した経費でございます。 8は、学校栄養士会負担金等の各種協議会等の負担金でございます。 次のページをお願いいたします。 予備費充用につきまして、18節は西学校給食センターの回転蒸気釜1台が故障したため、早急に対応しないと調理に支障をきたす恐れがあるため、予備費より充用させていただきました。 以上で説明を終わります。
教育委員長	ただ今、御協報第2号について内容説明がなされましたが、本案について質疑を求めます。
教育委員長	電気料の関係、施設維持管理費が小学校が9千9百万円、中学校が5千5百万円ということになっておりますけれども、ソーラーシステムの効果は出ているのでしょうか。
教育総務課長	高根中学校と印野小学校にソーラーシステムを入れてありますが、どちらかと言うと環境教育的な面が多いですので、高根中学校

	で言うと月に何千円くらいの単位しか金額では入っておりません。電気料の節減という面では昨年度の途中から東京電力から他の民間の電力会社に代わって、その辺の節減の効果が大きいと考えております。
教育委員	教育指導費と幼稚園費の賃金の関係ですけれども、不用額が出ているということでその説明としてなかなか代替の職員が見つからないというのがあったかと思うのですが、そういった場合について代替の職員が充足されない場合について現場の方に負担が行く場合が考えられると思います。それでなくても忙しい先生方ですので、なるべく負担をかけないようにしてもらいと思います。その辺の対応はどうなっているのでしょうか。
教育総務課長	幼稚園教諭につきまして、去年は産休・育休が8人おりました通常より臨時職員を探すということが必要でした。当然、知り合いの先生を通じて探したり、ハローワークで募集をかけたっている訳ですが、基本的には担任の部分は配置はできますが、補助教諭はどうしても空いてしまうというところで、人づてを使って探してはいるのですが、すぐには見つからない状況です。現在のところ、今年度で言いますと1人欠になっている状況です。
学校教育課長	支援員につきましてですが、御殿場市の場合、支援員はすべて免許を持っている者という条件をつけています。そのために、本当に人がいないという状況です。これは市の支援員に限らず、県費負担教職員においても加配という形で6月から7月に枠をいただくのですが、そこから探そうと言っても本当に人がいないくて探しあぐねている状況です。教育委員会としましては、足柄上郡の教育委員会から山梨県、山中湖村、忍野村、沼津市、三島市等全部あたっています。同じようにどこの地区も教員がいないという状況になっているところでは、 3月・4月の時期ですと、大学は出たが教員採用試験に受からなかった人たちがいるので、その人たちを雇用することができます。今も、着々と来年度の分の講師登録をしていますけれども、その時点だとできるのですが、その人たちも結局6月・7月または中途半端な時期になってしまうとそれまでには仕事に就いている状況です。その仕事を辞めてくる訳にもいかないものですから、なかなかできないというのが現実です。今も、教員採用試験の1次の結果が出ましたので、そこで落ちてしまった方に声をかけて、何名か埋めています。機会を捉えてお願いしているというのが現状です。
教育委員	現状は説明がありまして、だいたいは理解が出来ましたけれども、ただ、そういう面があるという事は今後例えば市長部局で理解があつて、予算をたくさんつけてもらっても、なかなか学校側が負

	担軽減になるような補充はできないという事になってしまうということになってしまいますと思います。
学校教育課長	3月の時点できっちり分かっている分については大丈夫ですが、その時点ですべて埋まってしまいます。例えば県費負担で言えば途中で加配という形で6月頃もらう学校があると、これは6月頃というのはもう探しづらいです。臨時教諭の場合にも、今回の例で言いますと県費負担が特別休暇で休んでしまった先生がいてそのために臨時で免許を持っている方にその教諭の方に入ってもらいました。そこで、空いてしまったという事です。そういう形で、途中で空いたものに対して非常に苦しいです。 それから、3月の時点で最初から枠があればそれは非常にありがたいし、ある程度そこは確保・充足できるという事です。途中からが非常に厳しいです。
教育委員	そういう事でしたら、ある程度、当初幅を持たせてもらって、若干、要求の方法になってしまうと思いますが、プラスして要求してそれで対応していった方が良いのではないのでしょうか。
学校教育課長	最初をお願いする時という事でしょうか。
教育委員	せっかく主旨が学校の負担軽減でやられている事だと思うので、それがまた途中で負担が出るのは非常に問題になる事ではないでしょうか。それは、市長部局も理解してくれると思いますが。
学校教育課長	どういう事態になるかというのは読めない部分があります。特休・産休の方がたくさんおられます。講師だけでも60人、それだけ、お休みになったり産休になったりそういう方たちがいます。そういう方たちがいきなり入ったりする場合もあるので、読めないのです。正直なところ、突然お休みになると、その人たちの分を最初から確保しておくというのはなかなか難しいです。 案としましては、ぜひ、できる限りの事はしていきたいと思いません。
教育委員	決算書の数字と、先程の説明から推察できることは、せっかく予算をつけても余らせて充足できないのではないかと。いらないのであれば削れと議員さん達はそう思うか分かりませんが、内容が分からないとそういった理解しかできないと思いますし、もう少し決算の説明の仕方を考えた方が良いのではないのでしょうか。単に充足できないという事ではなくて。
教育部長	状況は、状況としてある訳ですけれども、せっかく確保した予算があるのにそれだけ現場に負担がかかって、それで良いのかと。それで良いなら良いのですが、例えば一つの方法として資格の軽減を図るとか、最初に多く採用するであるとか一つの手段として意見を

	いただいたという事であると思いますので、それもよく検討してまいります。
教育委員	今、資格の問題が出ましたが、それをもう少し枠を広げるだとかそういう方法も考えられるのではないのでしょうか。せっかく市の方で予算もつけてくれているのでその1割も余るとするのは非常にもったいないという感じがします。
教育委員長	229ページの育英奨学金貸与事業、高校生2名、大学生44名合計46名という事になっていますが、この12,000円と30,000円というのは相場なのでしょうか。
教育総務課長	金額が全国的に見て妥当かどうかという事でしょうか。他市と比べたことはありませんが、根拠があってこの数字が出ていると思いますので、調べておきます。
教育委員長	不用額が1名分だと思うのですが、辞退したという事でしょうか？
教育総務課長	退学などがあるとそこで貸与が止まってしまいますので、その分だと思われれます。
教育委員長	231ページの1番上の人間ドックの人数は137人という事です。毎年この位の人数なのではないでしょうか。
学校教育課長 補佐	人間ドックにつきましては、例年、この位の決算額です。
教育委員長	他に質疑もないようですので、本案を原案どおり承認することにご異議ございませんか。
(異議なし)	
教育委員長	ご異議がないようですので、御教報第2号「平成25年度御殿場市一般会計決算(教育費)について」は、原案どおり承認することに決しました。
教育委員長	次に御教議第32号「平成26年度御殿場市一般会計補正予算(第2号)について」を議題といたします。
教育部長	では、御教議第32号について説明させていただきます。 (議案書朗読) 個別の内容につきましては、担当が説明いたします。

教育総務課長	御教議第32号資料の2ページ・3ページをお願いします。教育総務課関係からご説明いたします。 1項教育総務費2目事務局費の説明欄をご覧ください。 1の育英奨学金は、貸付対象者である大学生5名の増に伴い、21節の貸付金を増額するものであります。また、1名あたりの年額は36万円です。 2の教育振興会補助金は、平成26年4月1日のみらい保育園開園に伴い、19節の負担金補助及び交付金を増額するものです。なお、この16万円については全額、御殿場財産区からの繰入となっております。 2項小学校費1目学校管理費の説明欄の1施設整備費ですが、①は、寄付者の意向により原里小学校図書室図書を購入するため、②は、朝日小学校校内放送システムの故障に対応するため、18節の備品購入費を増額するものです。 なお、歳入としましては①は9万円の寄付を充当し、②は協力割合(50%)により、35万9千円が原里財産区からの繰入となります。 また、今回の資料にはございませんが、市内在住の方から教育振興のために30万円の寄付をいただき、総務管理費になりますが教育振興事業基金に積み立てを予定しております。 教育総務課関係は以上です。
社会教育課長	引き続き社会教育課関係の補正について説明させていただきます。5項3目図書館費の18節、備品購入費の増額になります。 御殿場愛郷報徳社様より、図書整備を目的として30万円の寄附がありますことから、図書館図書整備の図書購入費に充てるものです。 なお、御殿場愛郷報徳社様からは毎年度寄附をいただいております。なかなか購入できない高価な図書を整備させていただいております。補正予算書には現れませんが、歳入の寄付金30万円を補正増しております。 なお、補正後の備品購入費予算総額は14,550千円となります。また、同じく補正予算書には現れませんが、御殿場の未来を考える女性の会サンフラワー様から、郷土資料館整備を目的として、10万円の寄付金がありましたため、教育振興事業基金に積み立てる補正を計上しております。 サンフラワー様からは、前年度にも10万円の寄附をいただいております。2年続けての寄附となっております。説明は以上となります。
教育委員長	ただ今、御教議第32号について内容説明がなされましたが、本案について質疑を求めます。

教育委員長	質疑もないようですので、本案について承認することにご異議ございませんか。
(異議なし)	
教育委員長	ご異議がないようですので、御教議第32号「平成26年度御殿場市一般会計補正予算(第2号)について」は、原案どおり承認することに決しました。
教育委員長	次に御教議第33号「平成26年度就学援助について」を議題といたします。本案については秘密会といたしますので、関係者以外は退席願います。
(関係者以外退席)	
(秘密会)	
学校教育課長	ただいま議題となりました、御教議第33号につきまして、内容説明をいたします。議案書15ページをお開きください。 (議案書朗読) 今回、認定のご審議をお願いするのは、平成26年度就学援助の申し出がありました5人で、いずれも新規の申し出であります。 具体的な内容につきましては、後ほど担当者から説明させますが、認定理由は、準要保護で児童扶養手当を受給している世帯の者4人、保護者の職業が不安定の世帯の者1人となっております。 提案にあたりましては、学校教育法、就学援助法、御殿場市認定要領、その他関係法令に基づいておりますので、よろしくご審議のほど、お願い申し上げます。
学校教育課 課長補佐	それでは、内容について、ご説明申し上げます。 今回の申請は小学生5人でございます。 資料は、1ページが申請者一覧表、3ページから26ページまでが申出書と所得関係等資料、27ページが生活保護費等計算書となっております。 申請者一覧表の項目は、左から、No、児童・生徒名、各種基準額等、認定要領、特記事項となっております。 それでは、申請者一覧表にもとづき、No.1から順次、ご説明申し上げます。 (内容説明) 以上で内容説明を終わりいたします。よろしくご審議の程、お願い申し上げます。
教育委員長	ただ今、内容説明がなされましたが、本案について質疑を求めます。
(質 疑)	
教育委員長	他に質疑もないようですので、本案について一部を修正して承

	認することにご異議ございませんか。
(異議なし)	
教育委員長	ご異議がないようですので、御教議第33号「平成26年度就学援助について」は一部を修正して承認することに決しました。
(秘密会を解く)	
教育委員長	それでは、秘密会を解き会議を続行いたします。その他、事務局から何かありますか。
教育総務課長	別紙1の資料をご覧ください。御殿場市立幼稚園の区域外就園についてという届出書がございます。こちらについてご説明申し上げます。 (内容説明) 以上で説明を終わりにいたします。
教育委員長	他に何かございますでしょうか。
教育総務課長	先程、奨学金の状況についてありましたが、近隣2か所だけ分かりましたので、答えさせていただきます。 裾野市につきましては、御殿場市と同じで高校生月額12,000円、大学生30,000円です。沼津市は、大学生のみで年間で120,000円となっておりますので、御殿場市の金額は相場であると捉えております。以上です。
教育委員長	他に何かございますか。
教育委員長	他にないようですので、以上をもちまして御殿場市教育委員会8月定例会を閉会といたします。 午後2時45分閉会
会議録署名人	上記のとおり相違ないことを証明するため署名する。 4番委員 _____ 5番委員 _____